

橋本地区公民館 つれもていこら

橋本市市脇
一丁目3番18号
橋本商工会館2F
Tel 34-2750
発行部数4,200部

橋本市民病院 健康セミナー



- ◆誤嚥性肺炎とその予防について
- ◆誤嚥に負けない嚥下リハビリについて

日時：10/17(木) 14:00~15:30

場所：橋本地区公民館 研修室

講師：駿田 直俊氏(病院長・呼吸器内科部長)

坂井 俊文氏(リハビリテーション科副技師長)

参加費：無 料

定 員：30名

申込み・問合せ：橋本地区公民館

Tel 34-2750

主 催：橋本市民病院・橋本地区公民館

申込みはコチラ→



簡単押絵教室

ちりめん根付作り『五福へび』

～へびは知恵の象徴～



日時：11/6(水) 13:00~15:30

場所：橋本地区公民館 研修室

講師：前野 美保子氏

参加費：800円

定 員：16名

持ち物：はさみ

申込み：10/1(火) 9:00~

◆締切：10/23(水)



健康一番体操



日時：10/22(火) 13:30~

場所：橋本地区公民館 研修室

講師：岸田 昌章氏 参加費：無 料

定 員：16名(先着順)

持ち物：お茶・タオル等

申込み：10/1(火) 9:00~

楽しくて役に立つ
健康よもやま話

健康ウォーキング



日時：10/24(木) 10:00 ※雨天中止

集 合：橋本地区公民館

行 先：東家方面 参加費：無 料

定 員：15名(先着順)

持ち物：飲み物・タオル等

申込み：10/1(火) 9:00~

乳幼児親子学級

ぐー☆ちょき☆ぱー

対象：1歳前後~就園前

10/16(水)『消防訓練』

10:00~11:00

場 所：山田地区公民館 集合

子育て中の皆さん、公民館に来て一緒に遊びませんか？ 季節のイベントをまじえて、皆で楽しみましょう。一度遊びに来てね♪
毎回10:00から始まります！★参加希望の方はお申込ください。



★万が一の対処法

(こどもの火傷、窒息、心肺蘇生法)

★通報訓練 ★避難訓練

★消火訓練 ★消防車見学



10月

館主催事業案内

お申込み・お問合せは

TEL 34-2750へお願い致します

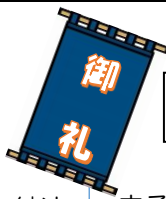
館主催事業の内容を一部変更または中止、もしくは延期になる場合があります。

10月の休館日：7日・14日・21日・28日

菖蒲谷納涼盆おどり大会

去る8/17(土)菖蒲谷区民会館グラウンドにて、納涼盆おどり大会が開催されました。涼やかな風が吹きわたるなか、大勢の方にご来場いただき、おかげさまで盛況のうちに終えることができました。開催にあたり、近隣の皆様にはご協力いただきましたこと、厚く御礼申し上げます。今後とも変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

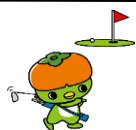
盆おどり大会実行委員長 中迫 恵文



橋本ブロック第35回納涼盆踊り大会

去る8/24(土)橋本市保健福祉センター駐車場にて、納涼盆踊り大会が開催されました。天候にも恵まれ、橋本こども園の園児の皆さん、橋本高等学校ダンス部の皆さん、そして、地域の皆様方にご参加いただき、盛大に実施することができました。これもひとえに皆様方のご協力とご支援のおかげと心から感謝申し上げます。今後とも変わらぬご理解とご協力を賜りますことをお願い申し上げます。

盆踊り大会実行委員長 杉本 靖



橋本ブロック グラウンドゴルフ大会

日 時：10/26(土) 予備日 11/2(土)

受付：8:40～

開 会：9:00～

場 所：神野々緑地芝生広場

対 象 者：橋本ブロック管内の一般の部
および小学生以下の部

申込締切：10/17(木)



当日午前中は職員不在のため、橋本地区公民館は閉館いたします。

参加費：無 料

持 ち 物：飲み物

申 込 み：各地区の運営委員、
又は橋本地区公民館へ
☎ 34-2750



人権啓発の集い講演会

フリーアナウンサー(元読売テレビアナウンサー)清水 健氏
による講演会を開催します。皆さんお気軽にお越しください。



～大切な人の「想い」とともに～

日 時：11/24(日) 13:30～16:00 (開 場：13:00～)

場 所：橋本市サカイキャニング産業文化会館 アザレア(大ホール)

定 員：650人

参加費：無 料(当日券はありません。入場整理券が必要です。)

申 込 み：◆スマートフォン等での申込み

申込み期間：10/1～11/8

スマートフォン等からの

申込みはコチラ



◆人権・男女共同推進室、各地区公民館、各文化センター
でも整理券を配布します。

配 布 期 間：10/1～11/22(整理券がなくなり次第終了)

問 合 せ：橋本市総合政策部 人権・男女共同推進室 Tel 33-1229



スマートフォン教室 参加者募集

◆開催日時・教室内容

土曜日 10:30～ ※各回とも 1 時間 30 分の予定

第 1 回 11/2 スマートフォンの基本

第 2 回 11/9 カメラの使い方・検索機能の活用

第 3 回 11/16 くらしでのスマートフォン活用（橋本市編）

◆対象者：市内在住でスマートフォン操作に不慣れな方
またはスマートフォンをお持ちでない方

場 所：橋本地区公民館 研修室

定 員：20 名（先着順）

参加費：無 料

持ち物：筆記用具・ご自身のスマートフォン
（お持ちでない場合は貸し出します）

申込み：橋本地区公民館 Tel 34-2750

主 催：政策企画室



主催事業の様子

ストーリーテリングを楽しむ会



8/29（木）サークル“おはなしのいす”
さんによる『ストーリーテリングを楽
しむ会』を開催しました。
視覚に頼りがちな今日、耳から入る言
葉に想像力が豊かになる時間でした。



健康一番体操



8 月のテーマは「老化」について。
「老化」には個人差があるようです。
人生 100 年時代、元気に年齢を重ね
ていきたいですね。



乳幼児親子学級

ベリィーベリィー

9/5（木）『親子ヨガ』



ぐー☆ちょき☆ぼー

8/28（水）『プール遊び』



橋本地域共育コミュニティだより

＜橋本小学校＞

ようやく朝夕は涼しくなり、「スポーツの秋」「読書の秋」「食欲の秋」の到来です。学校では10月5日の運動会、そして次は学童陸上記録会の練習が始まります。また、学期の切り替えの時期でもあり、学習面では1学期のまとめをしています。秋以降はエプロン先生のミシン実習をはじめ、地域の皆様やゲストティーチャーに来ていただいている学習活動が多くあります。今後も学校・地域・家庭が連携しながら様々な教育活動を実施していきます。ご協力よろしくお願いいたします。皆様にとっても「実り多き秋」となりますように。

写真は5年生森林体験宿泊学習の様子です。



10月の主な行事予定

1	火	運動会予行練習 交通指導(保護者)
5	土	運動会
7	月	運動会振替休業
8	火	お弁当日 ブッキー号 学童陸上大会放課後練習開始(～15日)
9	水	縦割り班活動 委員会活動
15	火	交通指導(保護者)
16	水	6年生、学童陸上大会 4・5年生、(県)到達度調査
18	金	1学期終業式
21	月	2学期始業式
22	火	6年生、がん教育・修学旅行説明会
23	水	クラブ活動
25	金	交通指導(職員) 5年生、金融学習
28	月	委員会活動
30	水	1年～5年生、校外学習
31	木	6年生、バイキング給食 初任者研修研究授業

＜橋本中央中学校＞



初秋を迎え、朝夕は随分と過ごしやすくなりました。今月にはいり、十一日には一学期(前期)が終了を迎えます。一年間の振り返り地点であり、今までの自分自身の学習面、生活面、そして部活動などでの足跡を振り返りながら、向上点や反省点をもとにして、成長できる大きな『節目』でもあります。

また、二十六日には体育祭を予定しています。全校生徒が、赤・青・黄の三組に分かれ優勝を目指して競い合います。精一杯頑張る橋中生の姿を、成長を期待しています。

10月の主な行事予定

6	日	中体連新人大会〈卓球〉
11	金	1学期終業式
15	火	2学期始業式
26	土	体育祭
28	月	振替休業日

展の会 春夏秋冬(十月号)

空のたたかい

中尾 悦子

「ねえ、家の大事なお客さんに悪さをしたのは誰だと思っ？」

「デッポポポー、デッポポポー」

夏の朝、庭の松の枝に止まっているキジバトと対話していると、「ツツ・ピーコ、ピー」と、イソヒヨドリの甲高いさえずりが近くの電線から聞こえてきた。わたし達を威嚇しているかのように。

暖かな日が続いた三月も終わりのころ、電線でチュピチュピ・ジーとツバメの元気なおしゃべりが始まった。

「おかえり！ 無事に帰ってきたのね」

前から残っていた巣の一つを修繕して住み始め、賑やかな日が続いていたある朝、卵と孵化したばかりのヒナ数羽が、無惨に壊された巣とともに落とされていた。

それでもめげずにまた違う巣に座り始めた姿を、〈今度こそは〉と祈る思いで見守っていた。が、またもや巣と卵が落とされ、周りには親ツバメの真黒な羽根が散らばっていた。親鳥が必死で巣を守りぬこうとした証した。

さすがに気力はもう残っていないかもしれない。ところが、残った三つ目の巣を修復して座り始めた。なんという強いことか。

何日かたった朝、うぶ毛のヒナが二羽落とされていた。それっきりツバメの姿が消えた。イソヒヨドリたちのやかましいさえずりが頭上で響いている。

南の遠い国から、命がけで海を渡ってきた大切なお客さんを、守る術がなかった。

「また来年待ってるよ」と見送ることできない今年の寂しい十月。